
EasyActive設定によるシングルアクティベーション

Note

2023年9月6日に配信されたウェビナーの録画もご覧ください[CDI アクティベーション: EasyActive and FullyFlexible](#)

CDIレコードタイプに関するユーザーの視点

ユーザーの観点から、検索結果に表示される可能性のあるレコードには2つのタイプがあります：

- 利用可能 – フルテキスト利用可能としてフラグが設定されているレコード。
- 検索可能 – フルテキスト利用不可としてフラグが設定されているレコードで、検索のみ可能です。

Primoの顧客のほとんどは、ユーザーの最初の検索を在庫状況でフィルタリングします。つまり、検索結果には、フルテキスト利用可能としてフラグが設定されているアイテムのみが含まれます。検索を実行した後、ユーザーは図書館コレクションを超えて展開リンクを選択して、検索結果でフルテキスト利用不可のフラグが設定されているレコードを表示することもできます。これらのオプションは、フィルター処理および拡張検索と呼ばれます。Primoをご利用の場合、拡張検索をデフォルトに設定し、最上位のファセットを使用して空き状況でフィルタリングすることもあります。

Almaでのシングルアクティベーション

フルテキストを購読しているため有効になっているAlmaコレクションは、自動的にCDIで検索可能になります。これらのコレクションの場合、個別の検索有効化は必要ありません。

検索のアクティブ化は、フルテキストに対してアクティブ化されていないコレクションまたはポートフォリオにのみ必要ですが、ユーザーにディスカバーしてもらいたい場合もあります。拡張検索ではフルテキストなしのフラグ付きで表示されます。また、CDIで索引を作成するためのメタデータを提供していないプロバイダーについては、代替カバレッジコレクションをアクティブ化する必要もありません。CDIは、フルテキストのアクティブ化に基づいて、索引全体で所蔵に一致するメタデータを自動的にチェックし、それらをディスカバーして利用できるようにします。

これは次のように機能します：

Almaは、以下の情報を含む複数のデータセット（機関所蔵ファイル）をCDIに公開します：

- フルテキスト利用の可否（Alma内のすべての有効なフルテキスト）これはCDIでフィルタリング検索時に返されるレコードに影響します（利用可能としてフラグを立て、フィルタリング検索で見つけられるようにします）
- 検索の利用可否（検索用に有効化したすべてのコレクション）：これは、（フルテキストでは利用できず、上記項目に該当しない資料に対する）拡張検索用にCDIで返されるレコードに影響します。

リンクパラメータの詳細については、[CDIリンクの顧客リンクパラメータ](#)をご覧ください。

Almaを使って、CDIで検索可能なものと利用可能なものを管理する

CDIの有効化が必要がはいに設定されているすべてのコレクションは、自動的にユーザーによる検索が可能で、拡張検索に表示するためにアクティベーションする必要はありません。これはほとんどの Alma の CDIコレクションに適用されます。

いくつかのコレクションは、以下の理由で **CDIの有効化が必要** がはいに設定されるよう定義されているため、Almaの標準の有効化プロセスを使用して **拡張検索** で表示できるようにするには、Almaで有効化する必要があります：

- プロバイダーが、サブスクリプションなしでコンテンツの検索をさせたくない。
- 一部のコレクションは、一部の機関でのみ使用される可能性がある。

Almaのフルテキスト有効化は、フィルタリングされた検索でユーザーが閲覧するものを完全に制御する。**CDIの有効化が必要** がはいに設定されるよう定義されたコレクションの追加の有効化は、**拡張検索** に表示されるものだけに影響を与えます。

Note

CDIコンテンツ管理の規模と継続的なアクティビティにより、Almaコレクションと360データベースから孤立したレコードが発生する可能性があります。これらのレコードは通常、プロバイダーの購読オファーに基づきます。これらのレコードは、代替の補償オプションに適用するために保持されます。「有効化可能」なコレクションに関連付けられていない場合は、**拡張検索** 結果に表示されます。

図書館管理者の観点からは、EasyActive設定を使用してAlmaで検索するためのコレクションをアクティブ化または非アクティブ化するオプションはありません。Almaのインターフェースには、次のように表示されます：

- フルテキストのAlma有効化。
- **CDIの有効化が必要** がはいに設定されていると定義されたコレクションのAlma有効化。

Almaの他のすべてのCDI関連の設定オプションは引き続き使用できます。これには、詳細検索でのフィルターとしてのCDIフィールドの使用、および電子コレクションエディターのCDIタブの使用が含まれます：

The screenshot shows the 'Electronic Collection Editor' interface for a Scopus collection. The collection name is 'Scopus [electronic resource] Elsevier [S.I.] : Continuously updated.' and the Collection ID is '61399411750002101'. The provider package code is 'BKL'. The CDI Institution Settings section includes a checkbox for 'Do not show as Full Text available in CDI even if active in Alma' (unchecked) and a 'Local Notes' field. The CDI Collection ID is 'BKL' and 'In CDI' is set to 'Yes'. Other settings include 'Provider coverage' (none), 'Number of records' (148309149), 'Resource Types' (journal article, conference proceeding, book chapter, magazine article, book), 'CDI update frequency' (Weekly), 'Full Text Rights in CDI' (Subscription (Linkresolver)), 'Full Text Linking in CDI' (Linkresolver), 'CDI activation required' (Yes), and 'CDI Type' (Newspapers: No).

Almaの電子コレクションエディタ

CDIの有効化が必要がはいに設定されているコレクションを検索結果に含めたい場合は、標準のAlma有効化手順を使用して、Almaでそれらを有効化してください。

電子コレクションページの検索結果において、これらのコレクションには**CDI有効化が必要**：はいというメッセージが表示されます。以下にScopusコレクションの例を示します：

The screenshot shows the 'Electronic Collections' page with two items listed. Item 1 is 'Open access Journals (Free E- Journals)' with details: Type: Selective package, Services: Full Text (Available), Interface name: Free E- Journals, Linking Level: Journal, Creation Date: 07/02/2012 08:00:00 AWST, Modification Date: 03/03/2020 20:04:37 AWST, In CDI: Yes, Search Rights in CDI: Free, Full Text Rights in CDI: OpenAccess, Full Text Linking in CDI: Linkresolver, Collection ID: 61265113010002101, MMS ID: 99653013302101. Item 2 is 'Scopus' with details: Type: Database, Creation Date: 18/11/2019 01:41:33 AWST, Modification Date: 21/05/2020 14:32:28 AWST, In CDI: Yes, Search Rights in CDI: Subscription, Full Text Rights in CDI: Subscription (Linkresolver), Full Text Linking in CDI: Linkresolver, CDI activation required: Yes, Orders: 1, Collection ID: 61391411730002101, MMS ID: 99112151502101.

Almaリポジトリ検索のCDIコレクション

サブスクリプションをお持ちの場合、または検索が無料のものについては、必ず、**CDIの有効化が必要**がはいに設定されていると定義されたコレクションのみを有効化してください。

電子コレクションエディタの**CDI**タブには、Almaにおける以下の関連設定が含まれます：

- **Alma**でアクティブであっても**CDI**ではフルテキストとして表示しない（「抑制」） -

AlmaのアクティブなフルテキストコレクションがCDIに公開されるのを抑制し、CDIでフルテキスト利用可能と表示されるようにすることが可能です。

図書館ユーザーの観点から、Almaのフルテキストコレクションまたはアイテムの有効化は、主に2つの目的を果たします：

- ディスカバリーでフルテキスト利用可能としてマークし、
- リンクリゾルパーを介してフルテキストリンクを利用できるようにします。

このオプションは、Alma電子コレクションエディタのCDIタブに表示されます。CDIで索引付けされているすべてのコレクション、およびCDIで索引付けされていない、Almaでポートフォリオを持っているすべてのコレクション（ローカルコレクションなど）が対象となります。

結果：

1. コレクションのすべてのポートフォリオは、**CDI所蔵**ファイルから削除されます。これにより、コンテンツがアクティブで抑制されていない別のコレクションからも利用可能でない限り、コンテンツに「フルテキスト利用可能」のフラグが付けられなくなります。
2. コレクションは依然としてリンクリゾルパーに表示され、ユーザーは他の検索エンジンやプラットフォームからアクセスした際にも、フルテキストへのリンクを利用できます。
3. フルテキストが抑制されているコレクションのコンテンツも、**検索用**にアクティブに設定されていない限り、または同じコンテンツが他のアクティブなコレクションから利用可能でない限り、**展開検索**で検索できません。
4. ローカル書誌レコードは影響を受けず、**検出**のためにローカルPrimo索引に公開されます。

このオプションを使用する理由：

1. オープンアクセスコレクションなど、特定のコレクションのコンテンツがPrimoの結果に表示されないようにし

ます。リンクリゾルバに対してのみフルテキストを有効にしたいものの、ユーザーの結果リストが乱雑になる恐れがあるため、フィルター検索では同じフルテキストを表示したくない場合などです。

2. 書誌レコードがPrimoローカルに公開され、さらにCDIレコードが結果リストに表示される電子書籍の重複結果を防止します。このオプションにより、CDIレコードが結果リストに表示されなくなります。ただし、CDIのチャプターレベルのレコードも削除されることに注意してください。

• CDIのみのフルテキスト有効化 -

CDIのみのフルテキスト有効化 オプションは、AlmaUIの次の領域にあります。

- 電子コレクションエディタの[CDI]タブ。
- IZコレクションリストのアクションメニュー。

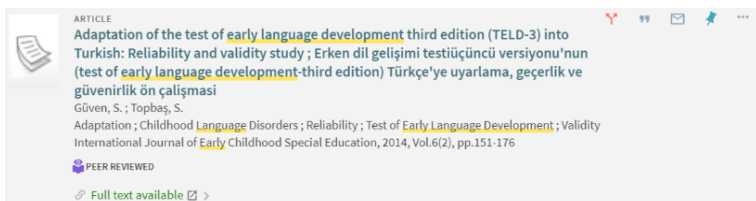
次の条件のうち少なくとも1つが満たされている場合、コレクションについて表示されます。

- **CDI**全文リンクフィールドはレコード内のリンク（リンクリゾルバーではない）に設定されています。
- **CDI**タイプはハイブリッドに、**Alma**コレクションタイプはデータベースに設定されています。
- **CDI**タイプは、（コレクションにポートフォリオがあるかどうかに関わらず）**A&I** データベースに設定されています。

効果：

はいに設定した場合、コレクションがCDIゼロタイトルの所蔵ファイルに追加され、次の結果が得られます：

1. CDIでコレクションがフルテキストデータベースとして定義されている場合、Primo UIでフルテキスト利用可能とフラグ付けされたコレクション内の全レコードが、CDIからのフルテキストへのリンク（レコード内のリンクを使用）とともにフィルター検索に表示されます。



フルテキスト入手可能フラグはコレクションレベルで継承されます。個々のポートフォリオ設定が存在する場合、それらは無視されます。

2. コレクションがCDIでA&Iデータベースとして定義されている場合、コレクションのコンテンツはCDIで検索できます（フルテキスト利用可能フラグは、Almaのすべてのフルテキストコレクション全般におけるフルテキストの有効化状況に依存します）。

このオプションを使用する理由：

このオプションは、図書館がコレクションとそのコンテンツをPrimoローカルインデックスやリンクリゾルバーに表示したくないものの、Primo UIではフルテキスト利用可能として表示したい場合（フルテキストコレクションの場合）、またはCDIで検索可能にしたい場合に使用できます（この場合、A&Iコレクションでは「フルテキスト利用可能」フラグは、Almaのすべてのフルテキストコレクション全般におけるフルテキストの有効化状況に依存します）。

このオプションの使用方法：

1. コレクションが機関ゾーンに存在することを確認します。

2. 電子コレクションを編集します。**CDI**タブで、**CDIのみのフルテキストを有効化** チェックボックスを選択します。

Note

CDIのみのフルテキストのポートフォリオとリンクパラメータを含むコレクションをアクティブ化する場合は、CDIリンクが期待どおりに機能するように、電子サービスエディタでリンクパラメータを入力する必要があります。リンクパラメータの詳細については、[CDIリンクの顧客リンクパラメータ](#)を参照してください。

- このコレクションの一部のタイトルのみ購読します -

はいに設定すると、CDIはそのコンテンツをこのコレクション内の有効なポートフォリオと照合します。いいえに設定した場合、CDIはこのコレクションの全コンテンツを、個々のポートフォリオとの照合なしに、フルテキスト検索が可能な状態にします。この設定は一般的に、次のように使用されます(以下のコレクションリンクタイプ別の推奨設定も確認してください)：

- 選択的な購読 (コンテンツの一部のみを購読する) を示す場合は、はいを選択します。
 - このコレクションに対して非選択的サブスクリプション (コレクション内の全コンテンツを購読する) を指定するには、いいえを選択してください。
-

Note

これは、そのようなコレクションの購入方法とは無関係であり、一部のライブラリではアグリゲーターパッケージに選択的な設定を使用しています。したがって、CDIのこの設定は、それらのリソースへの購読が必ずしも選択的であることを意味するものではありません。

このオプションは、アグリゲータ/選択的コレクションでのみ利用可能です (ポートフォリオを持たないデータベースタイプのコレクションでは利用できません)。デフォルト値ははい (選択購読) です。このフィールドは、CDIのみのフルテキストアクティベーションオプションが使用されている場合、読み取り専用です。

コレクションリンクタイプ別のおすすめ設定：

Almaにポートフォリオが存在する「レコード内リンク」タイプのコレクションで、機関がコレクション全体を購読している場合、「コレクション内のタイトルの一部のみを購読しています」設定をいいえに変更することを推奨します。これにより、コレクション全体が「フルテキスト利用可能」としてフラグ付けされます。2021年1月リリースのAlmaでは、アクティベーションウィザードが変更され、「レコード内リンク」タイプのコレクションに対してこれがデフォルト設定となりました。

この設定がはいの場合、CDIで一致が見つかり、かつレコードに「フルテキスト利用可能」と表示される場合のみ、有効なAlmaポートフォリオがCDI所蔵ファイルに含まれます。CDIはISSNやISBNなどの標準識別子のみを対象に照合するため、非IDコンテンツを含むコレクションでは、フルテキスト利用可能と表示されるレコードが少なくなります。

リンクリゾルバタイプのコレクションでは、特にAlmaで部分的に有効化が行われ、すべてのポートフォリオが有効になっていない場合には、コレクションの一部のタイトルのみを購読する設定オプション (これはデフォルトの設定です) をはいに設定しておくことをお勧めします。このオプションをいいえに設定すると、CDIのレコードとAlma CKBの間のミスマッチにより、CDIでリンクの問題が発生する可能性が高くなります。

ハイブリッドタイプのコレクションについては、コレクション内のタイトルの一部のみを購読する という設定をいいえに変更することを推奨します。ハイブリッドコレクションの詳細については、[CDIにおけるハイブリッドコレクシ](#)

[ヨソ](#)を参照してください。

FullyFlexibleからEasyActiveへの切り替え

Alma機関でFullyFlexibleからEasyActive設定に切り替えることができます。Ex Libris サポートが切り替えを実行します。実際の切り替えに先立ち、FullyFlexibleからEasyActiveに切り替えた際に、Alma環境に生じる変化についてのレポートが提供されます。

切り替えを行う過程で次のことが起こります：

- CDI検索の有効化がすべて削除されます。
- CDIでの検索用にこれまで有効化されたすべてのコレクション（CDIの有効化が必要がはいに設定されているもの）は、Almaで有効化されます。
- これまでにCDIのフルテキストのみで有効に設定されたすべてのコレクションは、Almaで有効化されます。

Almaでの有効化は、次のことを意味します：

- サービスとポートフォリオを伴う電子コレクションである場合、サービスとそのすべてのポートフォリオが有効化されます。
- データベースタイプの電子コレクションの場合、書誌レコードは抑制されません。

機関がEasyActive設定を使用すると、Almaで次の変更が発生します：

- 検索有効化オプションと検索有効化ファセットは、Almaに表示されなくなります。
- CDIへのCDI公開プロファイルには、CDI所蔵ファイルの検索有効化が含まれなくなりました。この情報を含む「検索可能」ファイルはCDIには公開されません。

よくある質問

1. **FullyFlexible** から **EasyActive** への切り替えはいつ利用可能になりますか？これはどのように処理されますか？

EasyActiveへの切り替えは、2020年8月以降に利用可能になる予定です。機関はサポートチケットを開き、8月初旬から切り替えのスケジュールを立てることができます。

2. 各キャンパスに独自のPCキーと公開プロファイルがあるマルチキャンパス環境で、一部のキャンパスで**FullyFlexible** 設定を使用し、他のキャンパスで **EasyActive** 設定を使用することは可能ですか？

いいえ、設定はAlma機関ごとです。

3. **EasyActive** 設定を実装した場合、**FullyFlexible** 設定に戻すことは可能ですか？

現在、EasyActive設定から完全な柔軟性に戻す方法はありません。EasyActiveに移行すると、CDIの現在の有効化設定の大部分が利用できなくなるため、移行元となる設定は存在しません。誰かが元に戻りたいと思ったときのために、最後の設定を保存する方法を検討しましたが、これまであまり関心が見られなかったため、今はこの作業を予定していません。

4. **EasyActive** 設定への切り替えをいつ決定する必要がありますか？それはCDIに移行した直後である必要があります

か、それとも待つ後で決定できますか?EasyActive 設定への切り替え期限はありますか?

EasyActiveへの移行はいつでも決定できます。期限はありません。完全に柔軟なものから始めて、これがどのように機能するかを確認し、都合のよいときにのみ変更を加えることができます。これは完全にユーザー次第です。